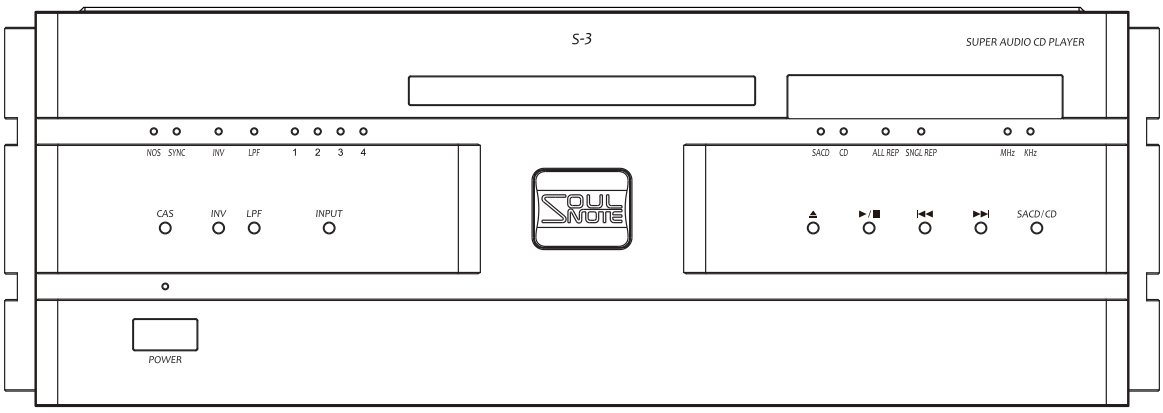
S-3 取扱説明書

SUPER AUDIO CD PLAYER



お買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保存してください。
なお、お買い上げいただきました製品は、厳重な品質管理のもとに生産されておりますが、
ご不審な箇所などありましたら、お早めにお買い上げ店へお問い合わせください。

目　次

安全上のご注意 3
ディスクについて 6
ディスクの挿入 7
前面パネルの名称とはたらき 8
後面パネルの名称とはたらき 10
リモコンのボタン名称とはたらき 12
操作のしかた 13
リモコンについて 15
DISPLAYボタン（リモコン）について 16
電源ケーブルの接続について 16
バランス入出力端子について 16
スパイクピンの取り付けについて 16
故障とお考えになる前に 17
保証・アフターサービスについて 17
お手入れ 18
規 格 18
音楽鑑賞のエチケット 19
著作権について 19

＊付属品

- 取扱説明書（本書）..... 1
- 保証書 1
- 電源ケーブル 1
- スパイク受けボード 1
- スパイクピン 3
- リモコン 1
- リチウム電池（CR2032）..... 2

安全上のご注意

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保証書と共にかならず保管してください。

絵表示について

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警 告	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠ 注 意	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。**

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は指をはさまれないように注意）が描かれています。

⚠ 警 告

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。

● 万一、内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災･感電の原因となります。

● 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

● 風呂場等の水滴がかかる場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● 乾電池は、充電しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となります。

● 雷が鳴り出したら、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

● 表示された電源電圧（交流100ボルト）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

● この機器を使用できるのは日本国内のみです。船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災の原因となります。

● この機器に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

● 万一、この機器を落したり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警告

● この機器の開口部をふさがないでください。開口部をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。この機器には、内部の温度上昇を防ぐため、ケースの上部や底部などに開口部があります。次のような使い方はしないでください。

- この機器をあお向けや横倒し、逆さまにする。
- この機器を押し入れ、専用のラック以外の本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。
- テーブルクロスをかけたり、じゅうたん、布団の上において使用する。

● この機器を設置する場合は、壁から10cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れる時は、機器の天面から2cm以上、背面から5cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり火災の原因となります。

● 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重い物をのせてしまうことがあります。

● この機器の上にろうそくなどの炎が発生しているものを置かないでください。火災の原因になります。

● この機器の開口部などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落し込んだりしないでください。火災·感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。

分解禁止

● この機器の裏ぶた、キャビネット、カバーは絶対はずさないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご依頼ください。

● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

● この機器のACアウトレットが供給できる電力は、後面パネルに表示されております。接続する装置の消費電力の合計が表示されているW（容量）を超えないようにしてください。火災の原因となります。電熱器具、ヘアドライヤー、電磁調理器などは接続しないでください。また供給電力以内であっても、電源を入れたときに大電流の流れる機器などは、接続しないでください。

⚠ 注意

● 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

● 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。キャビネットや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

● オーディオ機器、テレビ、ビデオ機器、ゲーム機、スピーカーを接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明にしたがって接続してください。また、接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したり、コードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。

● 電源を入れる前には、音量（ボリューム）を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力障害などの原因となることがあります。また、テレビ等の音声を本機のスピーカーを使ってお楽しみになる前にも、音量（ボリューム）を最小にしてください。

● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

⚠ 注 意

● 電源のスイッチを切っても電源からは完全に遮断されていません。万一の事故防止のため、本製品を電源コンセントの近くに置き、すぐに電源コンセントからプラグを抜けるようにしてご使用ください。

● 製品に同梱している電源コードのみ使用してください。製品に同梱していない電源コードを使用しないでください。

● 電池をリモコン内に挿入する場合、極性表示プラス+とマイナス－の向きに注意し、表示通りに入れてください。間違えると電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● 指定以外の電池は使用しないでください。また、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

● ご不要になった電池を廃棄する場合は、各地の地方自治団体の指示（条例）にしたがって処理してください。

● 旅行などで長期間、この機器をご使用にならない時は安全のためかならず電源プラグをコンセントから抜いてください。

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店にご相談ください。機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店にご相談ください。

● ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

● 電源プラグを抜く時は、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。かならずプラグを持って抜いてください。

● レーザー光源をのぞき込まないでください。レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

● 電池は、金属性のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。電池のプラス+端子とマイナス－端子の間がショートし、電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 電池は、加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないでください。電池の破裂、液もれにより、火災、けがの原因となることがあります。

● 長期間使用しない時は、電池をリモコンから取り出しておいてください。電池から液がもれて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液がもれた場合は、電池収納部についた液をよく拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一、もれた液が身体についた時は、水でよく洗い流してください。

● 移動させる場合は、電源スイッチを切り、かならず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードをはずしてから行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● 長時間音が歪んだ状態で使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。

● この機器の上に物を置かないでください。この機器の上には通気孔があります。通気孔をふさぐと中に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● この機器の上にテレビやオーディオ機器などをのせたまま移動しないでください。倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

● この機器に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわしたりして、けがの原因となることがあります。

● 使用中および使用直後は、操作部、後面接続端子部以外は高温になっているので手を触れないでください。やけどの恐れがあり、危険です。特に上面など高温部には触れないでください。

● この機器の上に重いものや外枠からはみ出るような大きなものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

ディスクについて

1. 再生できるディスクの種類

本製品で、再生可能なディスクは、スーパーオーディオCDおよび音楽用CD規格で記録されたCD、CD-R※1、CD-RW※1です。

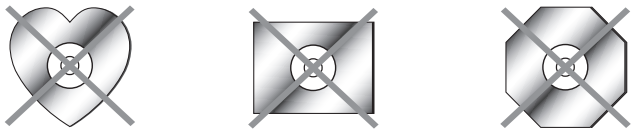
本機で再生できるディスクは、右のマークがついているものです。
それ以外の規格(mp3/WMA方式等の圧縮データ)に基づいたディスクには対応していません。
※1　CD-R/CD-RWで記録されたディスクは、記録の状態により再生できない場合があります。

2. コピーコントロールCDについて

本製品は音楽用CD規格に基づいたディスクにのみ対応した設計となっており、その規格に適合しないディスクの動作/性能の保証は致しかねます。また、コピーコントロールCDに関するお問い合わせは、そのディスクの発売元にお問い合わせください。

3. ディスクを入れるときの注意

- ハート型、名刺型または八角形などの特殊形状をしたディスクは使用しないでください。



- ディスク自体の二枚重ね、ディスクと他の素材を重ねた状態での使用はしないでください。
- ラベル等の貼り付けられたディスク、はがした痕があるディスクは使用しないでください。

- 過度の傷・汚れのついたディスクは使用しないでください。

  これらを使用した場合、ディスクが取り出せなくなったり、本製品の故障の原因となることがあり、ディスク自体を破損する恐れがあります。

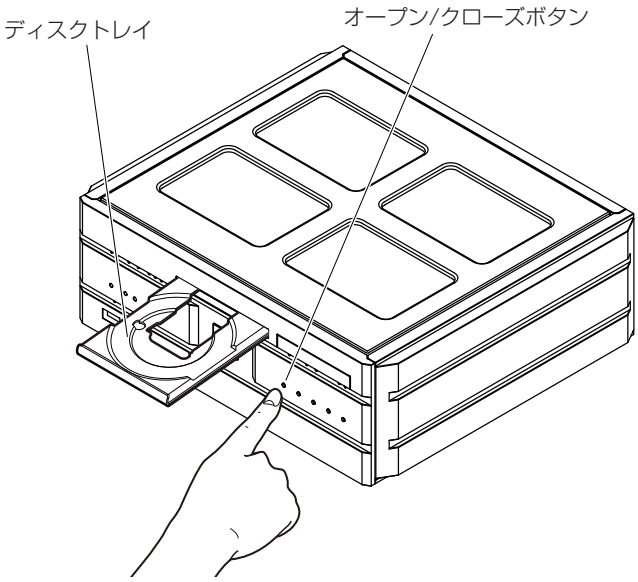
4. 取扱上の注意

記録面に傷、指紋、ほこり、汚れ等をつけないように扱ってください。
変質や塗料がはがれる原因となるので、クリーナー液やアルコールなどで拭かないでください。
ご使用後は、かならずディスクを取り出し、ほこり、傷、変形などを避けるため、かならずケースに入れてください。

5. 保管時の注意

直射日光が当たるところや暖房器具近く、湿気、ほこりなどが多いところに保管しないでください。

ディスクの挿入



1. ディスクトレイの開閉

① 電源を入れます。

※ディスクが挿入されていないときは、トラック表示に 00 が表示されます。

② オープン/クローズボタンを押します。

ご注意

ディスクトレイを開閉するときは、
かならず電源を入れてください。

2. ディスクの入れかた

- ディスク情報面に手が触れないように持ち、レーベル面を上にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて水平にのせてください。
- オープン/クローズボタンを押すと、ディスクは自動的に挿入されます。
- ディスクが挿入されると、ディスクの全トラック数と全時間が表示されます。

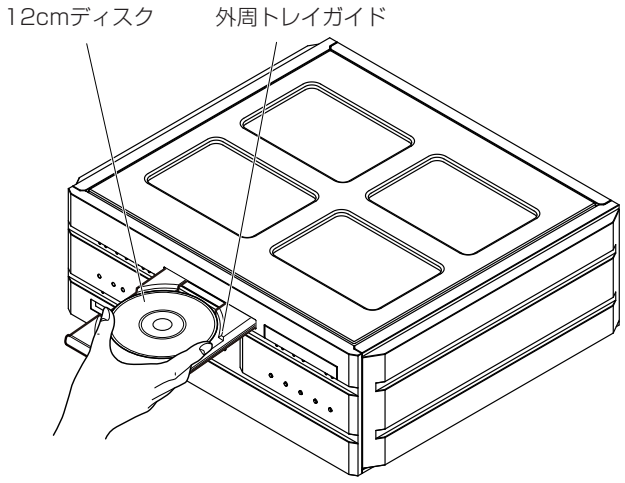


図1

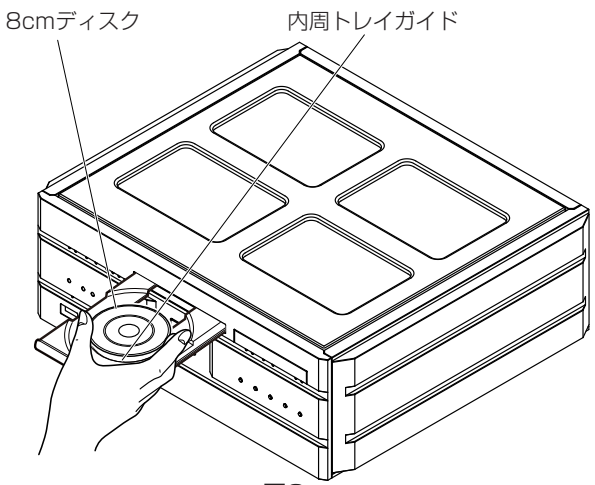
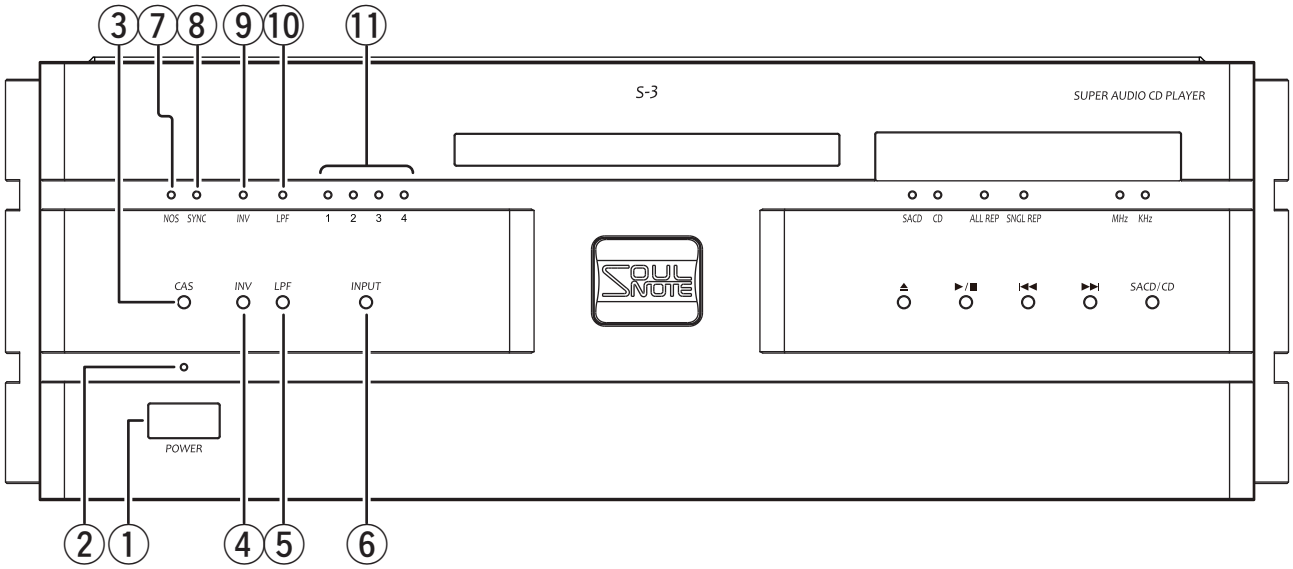


図2

※SACDディスクが挿入されると“00”が点滅して、SACD層のTOCを読み、SACDランプが点灯します。
CDディスクが挿入されると“0”が点滅して、メカニズムのクロックが切り替わります。
“0”が点滅している時は、メカニズムの電源シーケンス中で、ボタン等は操作できません。
その後“00”が点滅して、CD層のTOCを読みます。

前面パネルの名称とはたらき



① 電源スイッチ（POWER）

押すと電源が入り、もう一度押すと電源が切れます。

② 電源インジケーター（POWER）

電源が入ると、赤色に点灯します。
※外部クロックモードでは青色に点灯します。

③ CASスイッチ

再生モードを切り替えます。一度押すごとに、NOS ⇒ FIR ⇒ NOSと切り替わります。
※USB選択時、およびSACDディスク挿入時は切り替わりません。

④ インバートスイッチ（INV）

押すと、アナログ出力の位相が反転します。
もう一度押すと、戻ります。

⑤ ローパスフィルタースイッチ（LPF）

押すと、100KHzで8dB減衰するアナログローパスフィルタがONになります。もう一度押すと、OFFになります。
※リアパネルのLPFスイッチが、MANUAL時のみ操作可能です。
※リアパネルのLPFスイッチがAUTOの時はこのスイッチは無効となり、DSD（SACD）再生時のみ自動的にONとなります。

⑥ インプットセレクタースイッチ（INPUT）

入力ソースを選択します。
※インプットセレクター表示“4”が赤色に点灯すると、AES/EBUになります。また“4”が青色に点灯すると、ZERO LINKになります。

⑦ NOS表示

NOSモード時はNOS表示が緑色に点灯し、FIRモード時は消灯します。

⑧ SYNC表示

SYNC時（DPLL OFF時）はSYNC表示が青色に点灯します。

⑨ インバート表示

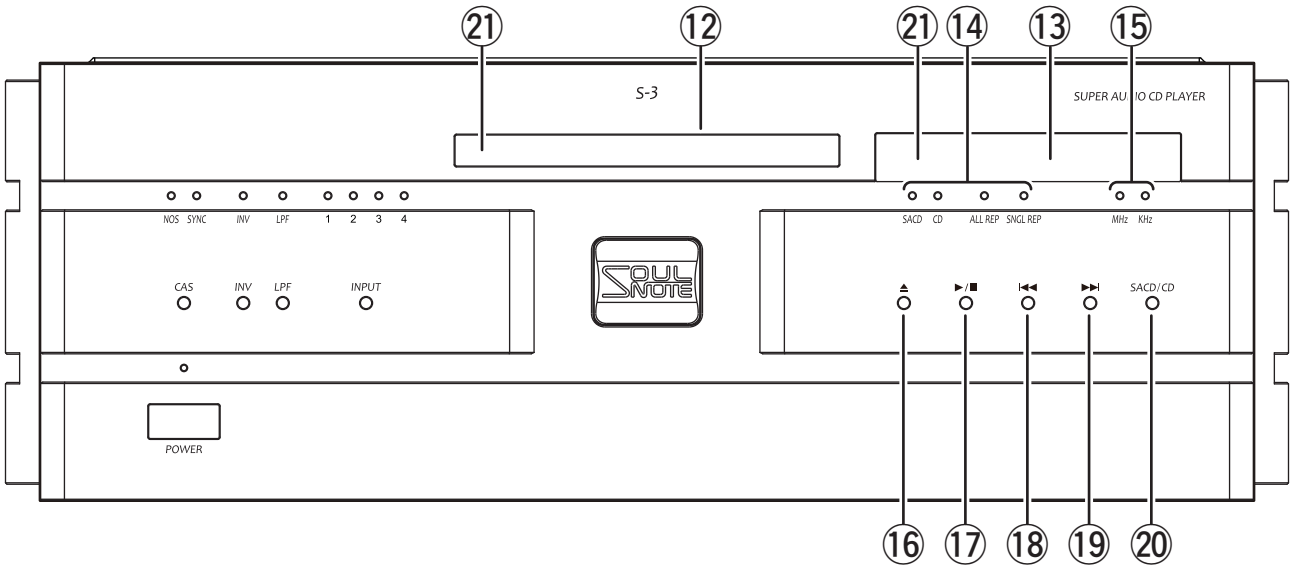
位相反転時に赤色に点灯します。

⑩ LPF表示

アナログローパスフィルタがONの時、赤色に点灯します。

⑪ インプットセレクター表示

選択した入力を表示します。



⑫ ディスクトレイ

再生ディスクを置くトレイです。ディスクのレーベル（印刷）面を上にして載せてください。

⑬ 表示部

■SACD、CDを使用しているとき
トラック情報、時間情報、を表示します。

表示の詳細はp.13～p.14を参照してください。

※消灯モード中でも、操作時は一時的に表示します。

※“0”が点滅しているときは、ボタンやリモコンでの操作はできません。

■外部入力端子から入力されたソースを選択している場合
入力されたソースのサンプリング周波数を表示します。

※COAX入力時、AES/EBU入力時は表示されません。

⑭ モードインジケーター

再生や表示に関するモードを点灯表示します。

SACD　：SACDが選択されているとき青色に点灯します。
CD　　：CDが選択されているとき赤色に点灯します。
ALL REP.：全曲リピート再生のときに赤色に点灯します。
SINGLE REP.：1曲リピート再生のときに赤色に点灯します。

⑮ サンプリング周波数単位表示

外部入力時にサンプリング周波数の単位を表示します。（MHz / kHz）

⑯ オープン／クローズボタン（⏏）

押すとディスクトレイの出し入れができます。

⑰ プレイ/ストップボタン（►/■）

押すと再生を開始します。
もう一度押すと再生を停止します。

⑱ トラックジャンプボタン（I◄◄）

再生中に押すと曲の頭出しをします。もう一度押すと1つ前の曲の先頭にジャンプします。

⑲ トラックジャンプボタン（►►I）

次の曲の先頭にジャンプします。

⑳ SACD/CD切り替えボタン

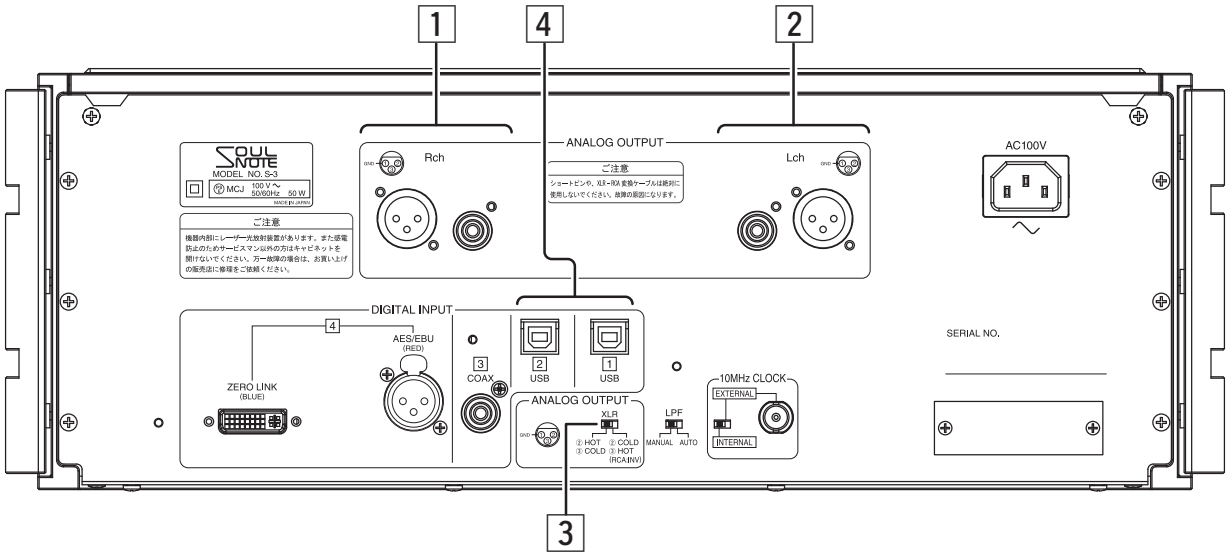
ハイブリットディスクを使用の際に、SACDとCDを切り替えます。

※このボタンを押しながら電源を入れると、再生モードが変更できます。このモードは、次に同じ操作がされるまで電源を切っても記憶されます。
モード1：常にSACD層から読みにいきます。
モード2：前回再生した層を読みにいきます。

㉑ リモコン受光部

リモコンからの赤外線信号を受信します。

後面パネルの名称とはたらき



1 2 アナログ出力端子（ANALOG OUTPUT）

アンプのライン入力端子と接続します。アンバランス出力端子（RCA端子）とバランス出力端子（XLR端子）があります。

※出力端子にXLR-RCA変換ケーブルやショートピンは絶対に挿さないでください。故障の原因になります。

3 XLRタイプ選択スイッチ（XLR）

バランス出力端子のタイプ（ヨーロッパ方式とUSA方式）を選択します。

ヨーロッパ方式：②ピン HOT / ③ピン COLD

USA方式　　：②ピン COLD / ③ピン HOT

※本機は、ヨーロッパ方式を工場出荷時の設定としています。

※USA方式を選択すると、RCA端子の出力は逆位相になります。

4 USB2.0入力端子（DIGITAL INPUT USB 1 2）

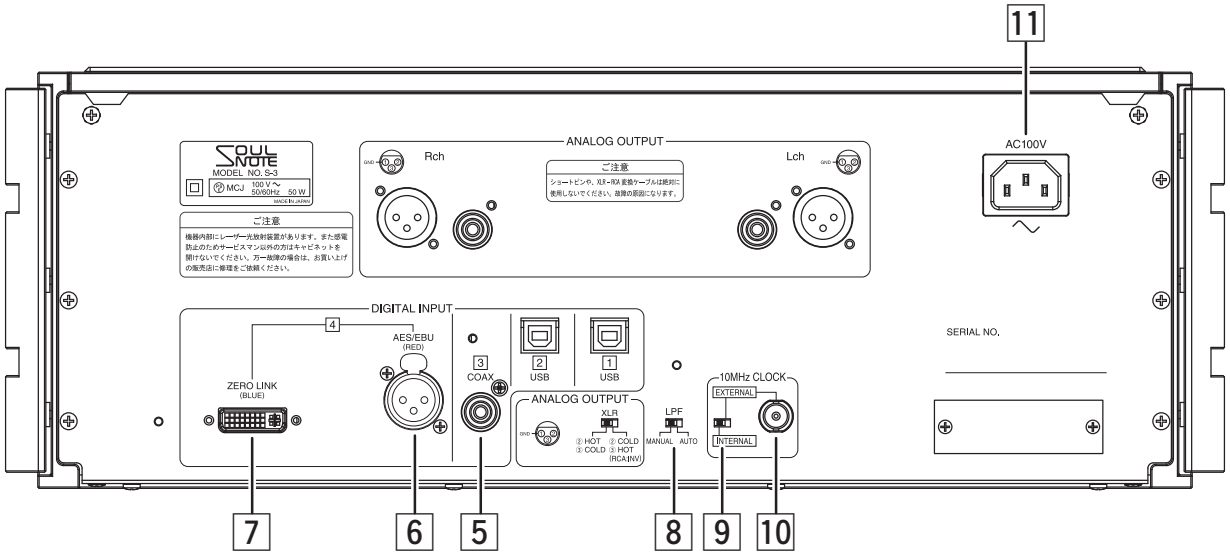
タイプB コネクター（標準タイプ）仕様のUSB2.0ケーブルを使用して、パソコン等と接続します。ＵＳＢでの接続は、パソコンとの双方向通信によって成り立ちます。この通信を妨害／遮断してしまうとパソコン側のオペレーティングシステムに深刻なエラーを引き起こしてしまうことがあります。ＵＳＢを使用しパソコンを接続しているときには、以下のようなことをしないでください。

- 本製品の電源を繰り返しON／OFFをするような操作。
- インプットセレクタースイッチでUSBとそれ以外を繰り返し切り替えるような操作。
- USB接続ケーブルを繰り返し抜き差しする操作。

※Windowsの場合は、専用のドライバーが必要です。ドライバーは、株式会社CSRホームページからダウンロードできます。

※エラーが発生すると周波数表示インジケーターが点滅します。この様な場合は一度本機の電源を切り、もう一度電源を入れてください。

※モバイル機器、タブレットPCとの接続にはOTGケーブルが必要です。ただし、Andoroid携帯は接続できない場合があります。



5 同軸入力端子 (DIGITAL INPUT COAX 3)

75Ω同軸デジタルケーブルを使用してS/PDIFフォーマットに適合したデジタル出力を持つ外部機器を接続します。

6 AES/EBU(RED)入力端子 (DIGITAL INPUT AES/EBU 4)

XLRデジタルケーブルを使用して、AES/EBUデジタル出力を持つ外部機器を接続します。

7 ZERO LINK (BLUE) 入力端子 (DIGITAL INPUT ZERO LINK 4)

ZERO LINK出力端子を持つ機器をDVIケーブルで接続します。
※モニター等は絶対に接続しないでください。

ご注意

- 入力端子または出力端子にケーブルを接続する場合は、かならず電源を切った状態で接続してください。
- 後面パネルのスイッチを切り替える場合は、必ず電源を切った状態で切り替えてください。

8 LPFスイッチ

アナログLPFの切り替えモードを選択します。

MANUAL： 前面パネルのLPFスイッチが有効になります。

AUTO： DSDが入力された時のみ自動的にONになります。
※前面パネルのLPFスイッチは無効になります。

9 外部クロック切り替えスイッチ

内部クロックと外部クロックを切り替えます。
※必ず本機の電源を切った状態で切り替えて下さい。

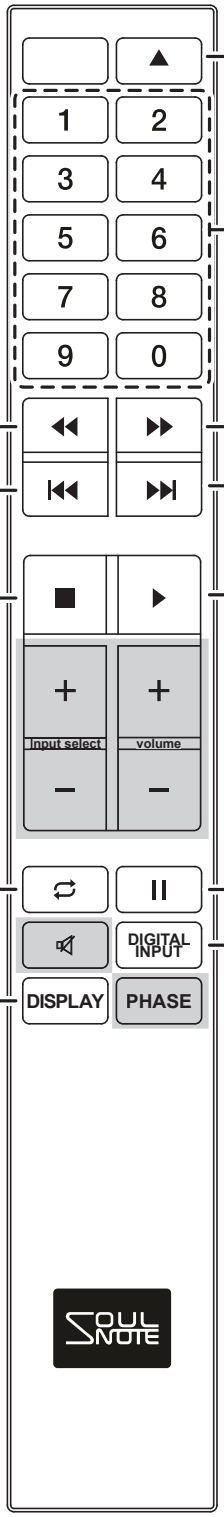
10 外部クロック入力端子 (10MHz CLOCK)

50ΩのBNC同軸ケーブルで、10MHzの基準クロックを出力する機器を接続します。
※必ず本機の電源を切った状態で接続して下さい。

11 ACインレット (AC100V)

付属の電源ケーブルを取り付けて、AC100Vのコンセントに接続します。
※アース端子と内部のグランドは接続されていません。

リモコンのボタン名称とはたらき



OPEN/CLOSEボタン
ディスクトレイを開閉します。

0数字ボタン (0 ～ 9)
トラック番号を指定します。

サーチボタン (◀◀)
再生中に押すと、曲を早戻しします。

サーチボタン (▶▶)
再生中に押すと、曲を早送りします。

トラックジャンプボタン (⏮)
再生中に押すと、曲の頭出しをします。
もう一度押すと、1つ前の曲の先頭にジャンプします。

トラックジャンプボタン (⏭)
次の曲の先頭にジャンプします。

ストップボタン (■)
再生を停止します。

プレイボタン (▶)
再生を開始します。

ALL REP.ボタン (🔁)
最後の曲が終わると最初の曲に戻って再生を続けます（全曲リピート）。

ポーズボタン (⏸)
再生中に押すと、一時停止します。
もう一度押すと、再生が再開します。

DISPLAY ボタン
押すたびに表示部の消灯と点灯が切り替わります。

DIGITAL INPUT ボタン
DIGITAL INPUTに接続された入力ソースを選択します。

※ 網掛けの部分は本製品では対応していません。

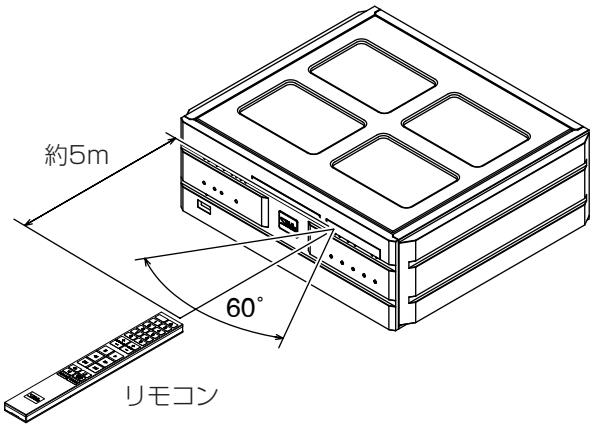
操作のしかた

操作	本　体	リモコン
電源を入れる	電源スイッチ (前面パネル ①) を押します。	リモコンでは操作できません。
ディスクを挿入する	オープン／クローズボタン (前面パネル ⑯) を押してディスクトレイを開け、ディスクを載せます。 もう一度押すと、ディスクトレイが閉じます。	OPEN/CLOSEボタン (▲) を押してディスクトレイを開け、ディスクを載せます。 もう一度押すと、ディスクトレイが閉じます。
	TOC (Table of Contents) 読み込み中は、トラック表示に “00” が点滅表示されます。 ※ “0” が点滅している時は、メカニズムの電源を立ち上げ中です。キー操作はしないでください。	
	TOC読み込み終了後、全トラック数と総再生時間が表示されます。 	
再生する	プレイボタン (►) を押します。	プレイボタン (►) を押します。
	再生中のトラック番号と経過時間が表示されます。 	
再生を一時停止する	本体では操作できません。	ポーズボタン (❚❚) を押します。
	一時停止中のトラック番号と経過時間が点滅表示されます。 	
再生を停止する	ストップボタン (■) を押します。	ストップボタン (■) を押します。
	全トラック数と総再生時間が表示されます。 	
曲を選ぶ	トラックジャンプボタン (I◄◄ / ►►I) を押します。	トラックジャンプボタン (I◄◄ / ►►I) または数字ボタン (0～9) を押します。
再生を早送りまたは早戻しする	本体では操作できません。	再生中にサーチボタン (◄◄ / ►►) を押します。
全曲を繰り返し再生する	本体では操作できません。 全曲リピート中はAll Rep.インジケーターが点灯します。	再生中にALL REP.ボタン (🔁) を押します。 もう一度押すと、全曲リピートが解除されます。
ディスクを取り出す	オープン／クローズボタン (前面パネル ⑯) を押してディスクトレイを開け、ディスクを取ります。	OPEN/CLOSEボタン (▲) を押してディスクトレイを開け、ディスクを取ります。
	トラック表示には “00” が点灯し、時間表示は消灯します。 	
電源を切る	電源スイッチ (前面パネル ①) を押します。	リモコンでは操作できません。

エラー表示	ディスク自体の読み取りができないとき	電源インジケーターが点滅し、トラック表示には“00”が点灯し、時間表示は消灯します。 この表示状態になったときは、そのディスクの使用を中止してください。 この状態のときはオープン／クローズボタンの操作はできます。 ディスクを交換すれば、そのままご使用になれます。
	ディスクの途中で読み取りができないとき	再生音が途切れて電源インジケーターが点滅し、トラック表示には“00”が点灯し、時間表示は消灯します。 この表示状態になったときは、そのディスクの使用を中止してください。 この状態のときはオープン／クローズボタンの操作はできます。 ディスクを交換すれば、そのままご使用になれます。
	電源LED以外が点灯しない	クロック切り替えが「外部クロック」になっており、外部クロックが接続されていないか、外部クロックの電源がオフになっています。

リモコンについて

■ 操作するときは



本体前面から約5m以内、受光部に対し60˚以内の位置で操作してください。

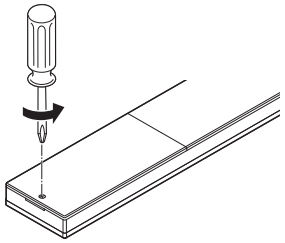
- リモコン受光部には強い光を当てないでください。
- リモコンと受光部の間に物を置かないでください。
- ほかの機器のリモコンと同時に使わないでください。
- リモコンは受光部に向けて操作してください。

電池についてのご注意

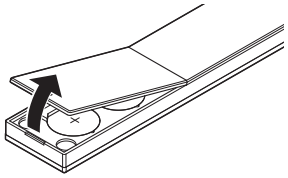
- リモコンにはリチウム電池 CR2032 をご使用ください。
- 付属の電池は動作確認用です。リモコンを本製品の近くで操作しても本製品が動作しないときは、新しい電池と交換してください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池をショートさせたり、分解・加熱したり、または火に投入したりしないでください。
- 電池は小さなお子様の手の届くところに置かないでください。。万一飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。
- 電池の液が目に入ったときは、目に障害を与えるおそれがあります。こすらずにすぐに水道水などのきれいな水で充分に洗った後、医師の治療を受けてください。
- リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り出してください。
- 不要になった電池を廃棄する場合は、お住まいの地方自治体の指示（条例等）にしたがって処理してください。

■ 電池を交換するには

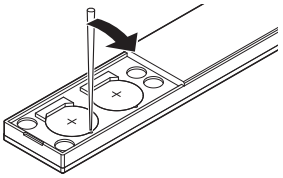
1. ドライバーでリモコンの裏ぶたのネジを外します。



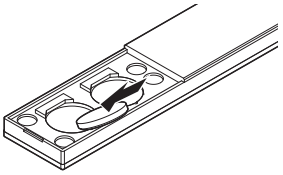
2. 裏ブタを斜めに持ち上げて外します。



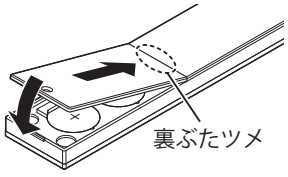
3. 細くて折れにくい棒を使用して、電池を取り出します。金属性の棒は使用しないでください。



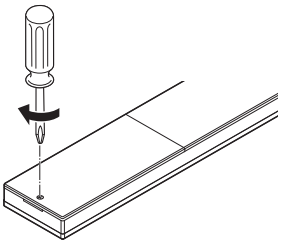
4. 電池の+を上にして、矢印の方向から電池を入れます。



5. 裏ぶたのツメを先に挿し込み、裏ぶたを閉めます。



6. ドライバーで、裏ぶたのネジを締めます。

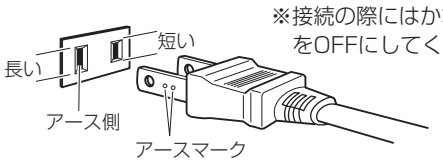


DISPLAYボタン(リモコン)について

本製品は、リモコンのDISPLAYボタンを押すことで電源インジケーター以外の表示部を消灯できます。
表示部を消灯することにより本製品内部のノイズを低減できるため、音声信号の質を高めることができます。

電源ケーブルの接続について

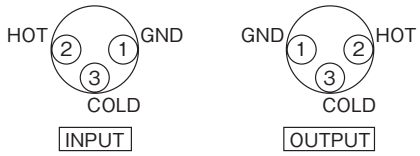
接続する際、電源ケーブルプラグのアースマーク（丸い刻印2個)がACコンセントのアース側(穴の長い方)になるように接続してください。極性が逆になると、本機の実力が十分に発揮できない場合があります。



バランス入出力端子について

バランス入出力端子にはXLRコネクターを使用しています。コネクターの接続方法は、タイプが二通りあります。

❶ ヨーロッパ方式　※本機採用
（②ピン＝HOT　③ピン＝COLD）



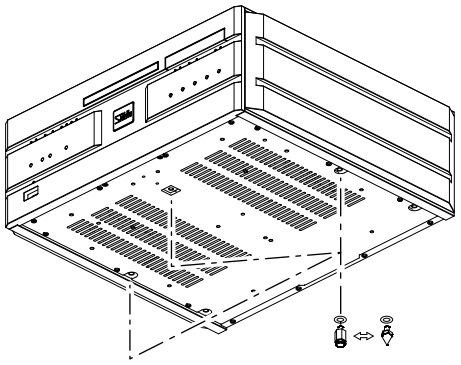
❷ USA方式
（②ピン＝COLD　③ピン＝HOT）

本機では、後面パネルのXLRタイプ選択スイッチで切り替えることができます。

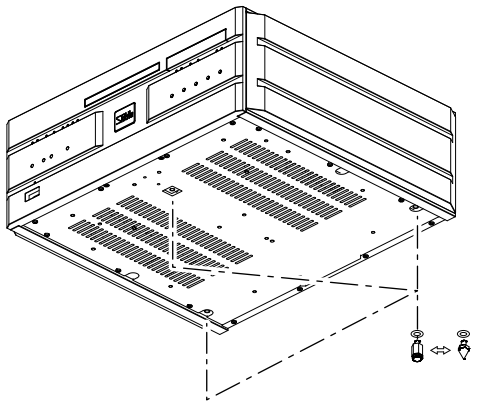
スパイクピンの取り付けについて

付属のスパイクピンに付け替えることにより、音質をチューニングできます。点接地にすると、フォーカス、音像定位がよりシャープになります。また、設置する面の材質により微妙に音質をチューニングすることができます。

※スパイクピン取り付け時は、重量バランスが不安定になりますので、セットのコーナーに不用意な力を与えないよう十分にお気をつけください。



脚は後ろ側にも取り付けることができます。
接続ケーブル等の重さでフロント側が浮くようでしたら、後ろ側の穴に取り付けてください。



⚠ 注意

- スパイクピンを使用する際には、けが等に十分に気をつけてください。
- 設置面のテーブル・棚等の表面に傷が生じることがあります。傷防止のため、付属のスパイク受けボードを使用ください。

故障とお考えになる前に

＊音が出ない

- 電源は入っていますか？
- インプットセレクターは正しく選択されていますか？
- 外部機器は正しく接続されていますか？
- 外部機器の電源は入っていますか？
- 外部機器の操作/設定は適切ですか？
- 本製品が対応できない信号を入力していませんか？

＊CDが正しく再生できない

- 傷付いたディスクを使用していませんか？
- 規格外のディスクを使用していませんか？
- 音楽用CD規格で記録されていないCD-RやCD-RWを使用していませんか？

＊リモコンでの操作ができない

- リモコンの電池が消耗していませんか？
- リモコンが離れ過ぎていたり、本製品との間に障害物があったりしていませんか？

＊パソコンで認識できない

- パソコンとの接続は正しくできていますか?
- USBハブを使用していませんか?
- インプットセレクターは正しく設定されていますか?

＊パソコンからの音がでない

- パソコンは正しく設定されていますか？
- パソコンのサスペンド機能やハイバネーション機能を使用すると、復帰後、音声が出なくなることがあります。本製品の電源をいったん切り、再度入れてください。
- パソコン側で音声データーを再生中にエラーが発生した場合、音声が出なくなることがあります。本製品の電源をいったん切り、再度入れてください。

保証・アフターサービスについて

1. この商品には保証書を別途添付してあります。
   保証書は「販売店印・保証期間」をご確認の上、販売店からお受け取りいただき、よくお読みの上、大切に保管してください。
2. 本体の保証期間はお買い上げ日より1年間です。
   保証記載事項に基づき「無償修理」いたします。
3. 保証期間経過後の修理。
   修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
4. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打切後最低8年間保有しています。
5. 補修用部品の詳細・ご贈答・ご転居等アフターサービスについての不明な点は、CSRカスタマーサポートへお問い合わせください。
6. 修理を依頼される際には、お手数ですがもう一度 **故障とお考えになる前に** をご参照の上よくお調べください。
   それでも直らないときは、かならず電源プラグを抜いてから、CSRカスタマーサポートへお問い合わせください。

ご連絡いただきたい内容

1）品　番	S-3
2）製　番	セット裏面及び保証書に記載されています
3）お買い上げ日	年　月　日
4）故障の状況	（できるだけ具体的に）
5）ご住所	
6）お名前	
7）電話番号	

修理のお問い合せ、修理品送付先
株式会社 SOULNOTE
〒252-0303
神奈川県相模原市南区相模大野５丁目33番４号
TEL　042-711-6001

お手入れ

セットが汚れたときは、やわらかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは食器用洗剤を5〜6倍にうすめ、やわらかい布に浸し、固く絞って汚れを拭きとったあと、乾いた布でから拭きしてください。
アルコール、シンナー、ベンジン、殺虫剤など揮発性のものが付着すると、光沢が失われることがありますから絶対にご使用にならないでください。
また、化学ぞうきんでこすったり、長時間接触させたままにしておきますと、変色・変質する場合がありますのでご注意ください。

＊ヒューズの交換
万一、ヒューズが切れた場合は、お買い求めの販売店、またはCSRカスタマーサポートへご連絡ください。

規 格

アナログ出力
　バランス1系統.....出力レベル5.6V
　（適合負荷インピーダンス5kΩ以上）
　アンバランス1系統.....出力レベル2.8V
　（適合負荷インピーダンス5kΩ以上）
アナログ周波数特性.....2Hz〜150kHz(+0/-1dB)
S/N比.....110dB
全高調波歪率 0.008%
アナログフィルター.....1次パッシブ型

入力フォーマット
　USB.....PCM,DSD(DoP v1.1 ,ASIO)
　同軸･AES/EBU..... PCM,DSD(DoP v1.1)
対応サンプリング周波数
　USB.....最大768kHz(PCM)/ 最大22.6MHz(DSD)
　同軸･AES/EBU
　.....最大192kHz(PCM)/ 最大2.8MHz(DSD64 DoP v1.1)
デジタル入力
　.....USB(Type B)2系統，同軸(S/PDIF)，AES/EBU
アナログ出力 .....XLR1系統，RCA1系統

電源電圧 .....AC100V　50/60Hz
消費電力.....50W
最大外形寸法
　本体.....454(W)×174(H)×393(D)mm
質量
　本体.....27kg

許容動作温度 ..... +5℃ 〜 +35℃
許容動作湿度 .....5 〜 90%(結露のないこと)

音楽鑑賞のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。
隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

著作権について

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
音楽の歌詞、楽曲などは著作権法によって保護されていますが、放送やCD、レコード、その他の録音物（カラオケテープ・ミュージックテープなど）も同じように著作権法により保護されています。したがって、それから録音したものを

- 売ったり、配ったり、あるいは譲ったり、貸したりすること
- 営利（店のBGMなど）のために使用すること

は、著作権法上、権利者の許諾が必要です。使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC）の本部、もしくはもよりの支部におたずねください。

お問い合わせ情報につきましては、日本音楽著作権協会（JASRAC）のホームページにてご確認ください。
https://www.jasrac.or.jp/index.html

株式会社SOULNOTE
神奈川県相模原市南区相模大野5 丁目 33番4号

SOULNOTEカスタマーサポート

042-711-6001
e-mail: support@kcsr.co.jp

ご相談受付時間
9:00 ～ 17:00
（土 日 祝日を除く）

Printed in Japan 02/2024 23BA851112 TM